

内子町ビジネスプランコンテスト企画・運営委託業務公募型プロポーザルについての質問及び回答

(回答日) 令和7年7月22日

番号	質問項目	質問内容	回答
1	【募集要領・7】 プレゼンテーションについて	現地でのプレゼンテーションが必須か。オンラインでの対応は可能か。	現地で対面によるプレゼン、質疑応答を想定しています。
2	【募集要領・2(4)】 委託上限額の補足事項について	補足事項に「受賞者の賞金等は別途計上するので、本業務の委託料には含みません。」とあるが、これに関して決まっている賞金額、受賞者数はあるか	受賞者数今後の検討になります。賞金については、実際の起業に係る費用に対する補助金を想定しています。総額は300万円を予定しています。
3	【仕様書・5(4)】 要領等の作成	こちらで想定している要項は、発出元は内子町になるか、運営事務局になるか	発出元は内子町になります。 ※訂正のお願い 仕様書において、5の(3)が2つ存在していました。つきましては2つ目の(3)を(4)と訂正し、以降の番号をすべて1つずつ繰り下げてください。
4	【仕様書・5(5)】 1次審査の実施について	想定する審査員の人数はあるか。また、審査員に求める審査方法、手法の想定はあるか。	最終審査と同様にする必要はありませんが、複数の審査員をお願いします。手法としては、実際の起業につなげることが目的であることを鑑み、1名は1次審査から実践プログラム、最終審査までの一連の事業に関わることが望ましいと考えます。 審査員からの説明は必須ではありませんが、受託事業者側からの評価や助言内容などの報告を求めます。
5	【仕様書・5(5)】 1次審査の実施について	10名以上の応募が仕様にあるが、5名程度の通過者となっている。落選した方々への個別のフォローアップ(ビジネスプランの壁打ち等)は必要ないか。例えば自由提案として、コンテスト登壇者以外のフォローアップを提案することは可能か。	内子町での起業等を目指す人を増やすための事業になりますので、その目的を果たすために必要なご提案をお願いいたします。

6	<p>【仕様書・5（6）】 実践プログラムの運営について</p>	<p>プレゼンテーションへの準備としての実践プログラムの支援内容に具体的な仕様はあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者あたりの実施回数 ・ 実施方法（対面かオンラインか） ・ 支援者（メンター）のスキルや経験等の経歴 ・ 支援者（メンター）の配置人数 	<p>具体的な仕様は、受託事業者と検討する予定です。業務目的を達成できるよう、適切な実施回数や実施方法等のご提案をお願いします。</p>
7	<p>【仕様書・5（7）】 最終審査について</p>	<p>「審査員が受賞者の選定を行っている間、起業や新規事業進出等に関する講演を行う講演者を審査員とは別に1名選定すること。」とあるが、こちらの内容については、ビジネスプランコンテストのコンテンツの内容かと推測する。コンテンツ等はすでに決まっているのか、決まっている場合は、その内容を教えてほしい。</p>	<p>大まかな業務内容の流れとして、仕様書の5. 業務内容の（1）～（6）を想定しています。（3）企画・スキーム作りにより、他市町のビジネスプランコンテストの差別化が図れるよう、全体の企画をしてほしい旨を伝えています。仕様書にある骨格的な部分以外のコンテンツについては、ご提案によるものと考えています。別紙4評価基準の評価内容も参考にしてください。</p>